



平成26年度 中国四国地域マッチングフォーラム ～ “もち麦” 人気を中心に新たな展開が期待される国産裸麦の生産と利用～ の開催について

ポイント

- ・10月8日(水曜日)にサンポートホール高松(高松市)において、中国四国地域マッチングフォーラムを開催いたします。
- ・「“もち麦” 人気を中心に新たな展開が期待される国産裸麦の生産と利用」をテーマに、大麦の健康機能性ともち麦品種・有望系統、さらに、もち麦普及の取り組み例などの最新情報をご提供いたします。
- ・本フォーラムは生産者、企業(実需者)、行政機関、研究機関等、関係者の連携を深めるためのイベントです、どなたでもご参加いただけます。

概要

1. 農研機構は農林水産省農林水産技術会議事務局との共催により、「“もち麦” 人気を中心に新たな展開が期待される国産裸麦の生産と利用」をテーマとして、中国四国地域マッチングフォーラムを開催いたします。
2. マッチングフォーラムは、農業現場のニーズを踏まえた農業研究の推進と、研究成果の農業現場等への迅速な普及・実用化を促進することにより、地域農業の振興を図るため、研究者、普及指導員、生産者、行政担当者、関係団体が双方向の意見・情報交換を行うために開催しています。
3. 近年、大麦は食物繊維が豊富な穀物であるとの認識が高まり、胚乳に含まれる水溶性食物繊維のβ-グルカンの健康機能性が世界的に認められるようになりました。特に“もち麦”(モチ性大麦)はβ-グルカン含量が高く、また麦ご飯での食味が良いことから国内でも需要が増え、農研機構で育成したモチ性大麦(裸麦)品種の「ダイシモチ」や「キラリモチ」は新規需要が開拓され作付面積が増え始めているところです。
4. そこで今回は、国産“もち麦”や裸麦のさらなる需要や生産拡大に向けたマッチングの促進に資するため、大麦の健康機能性、“もち麦”品種・有望系統の紹介、“もち麦”普及の取り組み例などの最新情報をご提供し、ご参加頂く皆様と意見交換を行う本フォーラムを開催いたします。

報道関係各位におかれましては、本フォーラムの開催を広くご案内いただきますとともに、当日ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

記

日 時： 平成 26 年 10 月 8 日(水曜日) 13 時～17 時 15 分(12 時 受付開始)

場 所： サンポートホール高松 5 階 第 2 小ホール
(高松市サンポート 2-1 シンボルタワーホール棟内 (JR 高松駅徒歩 3 分))

内容等： 別紙開催案内のとおり
(内容等は農研機構近畿中国四国農業研究センターホームページ
URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/warc/> からのご案内しています。)

問い合わせ先

開催責任者：農研機構近畿中国四国農業研究センター 所長 尾関秀樹
広報担当者： 同 広報普及室 高橋俊二
TEL：0877 - 63 - 8102 FAX：0877 - 63 - 1683

本資料は、筑波研究学園都市記者会、農業技術クラブ、農林記者会、高松経済記者クラブ、福山市政記者クラブ、愛媛番町記者クラブ、日本農業新聞四国支局に配付しています。

※農研機構(のうけんきこう)は、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。
新聞、TV等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

平成26年度 中国四国地域マッチングフォーラム 開催案内
～ “もち麦” 人気を中心に新たな展開が期待される国産裸麦の生産と利用～

1. 開催日時 平成26年10月 8日(水) 13時～17時15分 (12時 受付開始)
2. 開催場所 サンポートホール高松 5階 第2小ホール
(高松市サンポート2-1 シンボルタワーホール棟内 (JR高松駅徒歩3分))
TEL 087-825-5000 FAX 087-825-5040
ホームページ <http://www.sunport-hall.jp/>
3. 主催・協賛・後援
主催：農林水産省農林水産技術会議事務局、農研機構近畿中国四国農業研究センター
協賛：農林水産省中国四国農政局、NPO法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会、
(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
後援：香川県、四国新聞社
4. 対象 生産者、生産者団体、行政・普及機関関係者、試験研究機関関係者等
5. 内容(講演会・ポスターセッション・試食・パネルディスカッション)
 - (1) 開会挨拶 13時～13時15分
農林水産省農林水産技術会議事務局
農研機構近畿中国四国農業研究センター所長
香川県農業試験場長
尾関 秀樹
松浦 克典
 - (2) 講演 13時15分～14時55分
司会：農研機構近畿中国四国農業研究センター 四国農業研究監 中野 正明
なぜ今大麦が注目されているか
大麦食品推進協議会 会長(大妻女子大学 名誉教授) 池上 幸江
“もち麦”品種の育成と有望系統
農研機構近畿中国四国農業研究センター 上席研究員 吉岡 藤治
「ダイシモチ」で新規需要創出と生産拡大
(有)ジェイ・ウイングファーム 代表取締役 牧 秀宣
「キラリモチ」の産地形成に向けた取り組み
(株)ライスクロップ長尾 代表取締役 長尾 隆大
実需者が期待する国産もち麦
(株)はくばく 取締役 常務執行役員
購買部・市場戦略部管掌 兼 CFT室室長 長沼 慶太
 - (3) ポスターセッション・試食・裸麦製品展示 14時55分～16時00分
 - (4) パネルディスカッション 16時00分～17時10分
「もち麦」と裸麦の今後の展開と課題
司会：農研機構近畿中国四国農業研究センター 水田作研究領域長 松村 修

(5)閉会挨拶 17時10分～17時15分
農林水産省中国四国農政局生産部長

西田 宏

6. 定員 先着150名

7. 参加費 無料

8. 参加申込

平成26年9月24日(水曜日)までに、農研機構近畿中国四国農業研究センターホームページからお申込みください。

ホームページ以外からお申込みの場合は、チラシ裏面の参加申込書をご覧のうえ、FAX・郵便・電子メールでお願いいたします。

◆農研機構近畿中国四国農業研究センターホームページ

URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/warc/>

※申込方法詳細はホームページのイベント・セミナー情報からもご案内しています。

9. 問合せ先

農研機構近畿中国四国農業研究センター 広報普及室

TEL. 0877-63-8143 FAX. 0877-63-1683 E-mail. shikoku-kf@ml.affrc.go.jp